

果樹の生育状況と当面の技術対策について

I 生育状況

1 りんご

9月21日時点の「ふじ」の果実肥大の平年比は、三戸が102%、八戸が106%であった（表1）。

一部園地で褐斑病が多い。輪紋病、炭疽病及びすす斑病・すす点病が散見される。

表1 りんごの果実肥大

(単位：cm、%)

地点	品種	年	6/1	7/1	8/1	9/1	9/21	10/1
三戸町 梅内	ふじ	本年	2.2	4.4	6.4	7.7	8.3	
		平年	1.5	3.9	6.0	7.5	8.1	8.3
		前年	2.1	4.4	6.2	7.5	8.1	8.3
		平年比	147	113	107	103	102	
	つがる	本年	2.6	5.5	8.0	9.3	—	—
		平年	1.7	4.5	7.1	8.7	—	—
		前年	2.5	5.6	8.0	9.3	—	—
		平年比	153	122	113	107	—	—
	ジョナ ゴールド	本年	2.7	5.1	7.2	8.4	8.8	
		平年	1.7	4.4	6.6	8.1	8.6	8.8
		前年	2.4	5.1	7.0	8.1	8.5	8.6
		平年比	159	116	109	104	102	
八戸市 櫛引	ふじ	本年	2.3	4.5	6.5	7.9	8.4	
		平年	1.5	3.9	5.8	7.3	7.9	8.2
		前年	1.9	4.3	6.1	7.4	7.9	8.1
		平年比	153	115	112	108	106	

平年値：平成13年～令和2年までの平均

2 もも

「川中島白桃」は、南部町相内で収穫始めが平年より4日早い8月25日、収穫終わりが5日早い9月1日であった。病虫害の発生は少ない。

3 西洋なし

「ゼネラル・レクラーク」の収穫始めは、南部町大向で平年より9日早い9月9日であった。果実肥大は良好であり、病虫害の発生は少ない。

4 ぶどう

露地栽培「キャンベル・アーリー」の収穫は、例年より5日程度早い8月29日頃から始まり、ほぼ終了した。開花期（6月前半）の低温降雨により、全般に着粒数が少ない。晩腐病と褐斑病の発生がやや多い。

II 当面の技術対策

1 りんご

(1) 着色手入れ

早くからの葉摘みは、鮮明な色が着かないばかりか食味の低下につながり、天候によっては日焼け果の発生も多くなるので、適期に実施する。

(2) 収穫

りんご研究所（黒石）の調査では、「トキ」の熟度は平年並で進んでいる。収穫始めは、「トキ」が平年並の9月30日、「早生ふじ」が平年並の10月1日と見込まれる。

地域によって収穫適期が前後することから、収穫に当たっては農協等の熟度調査結果を参考にする。

(3) 病虫害対策

ア 炭疽病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。発生しやすい品種は、王林、ジョナゴールド、つがる、紅玉などである。

イ 果実疫病

収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入しない。収穫した果実は長く野積みをしない。

ウ 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったツル（果柄）から病原菌が侵入するので、ツルが果台に残らないように収穫する。胴腐らの治療部を再点検し、病斑の進展が見られる場合は直ちに適切な処置を行う。

エ 輪紋病対策

被害果の中には、果点に小さな褐色斑点が見られるものもあるので、選果の際に見落とさないようにする。

オ 黒星病

被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

(4) 生理障害対策

ア こうあ部裂果（つる割れ）

「ふじ」のつる割れは、開花の早い年や満開後 71 日～120 日の総降水量が多い年に多くみられる（図 2）。

本年は「ふじ」の開花が平年より 8～10 日早く、満開後 71 日～120 日（7 月 15 日頃～8 月 30 日頃）の降水量も多かったことから、つる割れの発生が懸念される。

つる割れは、収穫が遅くなると発生が多くなるので適期に収穫する。

イ ビターピット

樹勢の強い樹や大玉果で多く、8～9 月の多雨、夏場の高温で発生しやすい。収穫が早すぎると発生が多くなるので適期に収穫する。

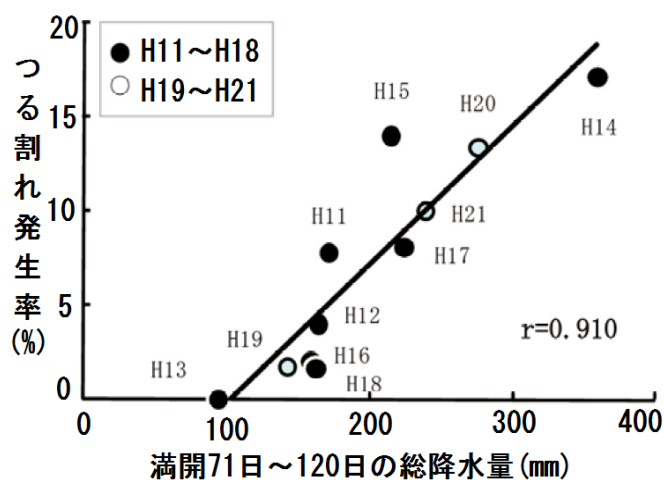


図 2 満開後 71～120 日の総降水量とつる割れ発生率の関係（青産技セりんご研究所）

2 共通（風害防止対策）

台風等に備え、棚、支柱、防風網等を再度点検し、必要に応じて補強や補修等をする。また、幹や主枝などに空洞などが生じている樹は支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。